

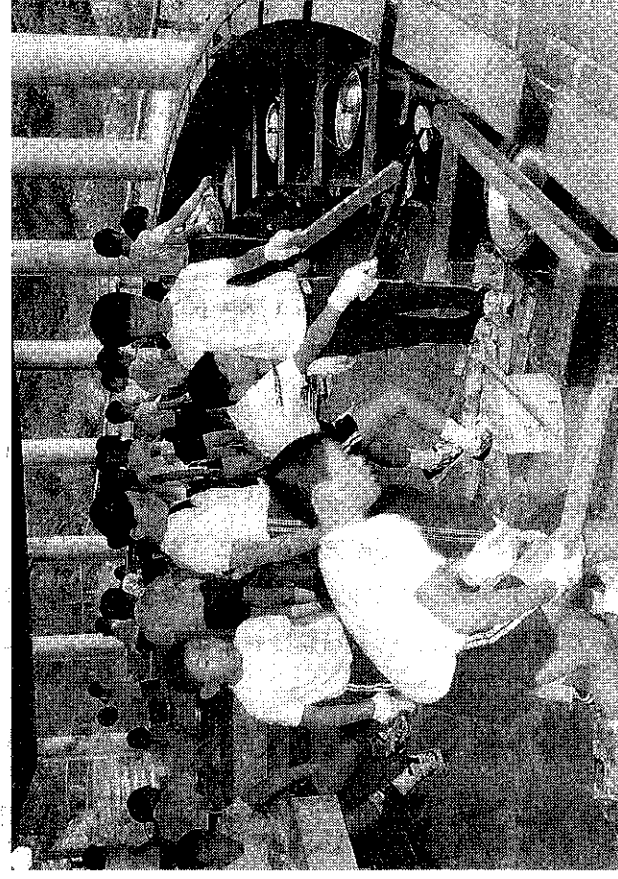
No. 47

発行/奈良市議会
編集/奈良市議会だより
奈良市議会委員



〒630 奈良市二条大路南1-1
奈良市議事事務局
☎ (0742) 34-4734

奈良市議会だより



宿泊体験学習で夕食作り(市青少年野外活動センターで)

慣例により一年交代となっている、議長、副議長の選挙は六月二十日及び二十一日の両日にわたって行いました。六月十九日に、中村誠一議長から提出された議長辞職願を承認したのを受け、翌二十日に行なった議長選挙で四十四人の議員による投票の結果、中村氏が議長に再選されました。続いて、北尾好章副議長からも副議長辞職願が提出され、

翌二十一日に行なった副議長選挙で議長選挙と同じように投票の結果、米澤保氏が副議長に選ばれました。また、例年六月定例会で行っている他の役員や委員会の委員の改選を行いました。(結果は四面一覽表のとおり) その他、農業委員の推薦、監査委員や教育委員の選任、人権擁護委員の候補者の推薦などを決めました。議会から

6月定例会

中村誠一議長再選、副議長に米澤保氏

議長や副議長をはじめとする議会役員の新選となる奈良市議会六月定例会は、六月十四日から六月二十六日までの十三日間の日程で開きました。議長には市議六期目の中村誠一氏が再選され、副議長には市議四期目の米澤保氏が選出されました。また、総務、財政、経済水道、教育厚生、企画建設の四常任委員会と議会運営委員会、議会だより編集委員会の委員などの改選を行いました。

農業委員に推薦したのは、森純男、松石聖一、岡本志郎、小林照代、和田晴夫の五議員。監査委員の選任に同意したのは、議会の上原篤、船越義治両議員のほか、玉川孝氏(再任)と吉田肇氏。また、六月三十日付で任期満了となる教育委員の河合利一氏の再任に同意。さらに人権擁護委員の候補者として、高村賢一郎、今中奈良男、西塔京子、阪本裕保、中西康雄、丸谷君雄、吉田定男、岡田幸子、野田樹、山本珠子の十氏の推薦に同意しました。

このほか、今議会に上程した案件は、奈良市清潔公社など市が出資する会社や財団などの平成七年度の経営状況の報告、市税条例の一部改正など三十二件で、これらはすべて原案どおり可決しました。

意見書・決議


今定例会で可決し、政府等に提出した意見書、決議の概要は次のとおりです。


▽治水事業の促進に関する意見書

平成九年度を初年度とする「第九次治水事業五カ年計画」の策定に際し、現行計画を上回る事業費を確保するとともに重点配分する

よう政府等に要望する。
▽新たな「食料・農業・農村に関する基本法」の制定を求める意見書
今後の我が国の食料や農業政策の目標を示し、安全な食料の安定供給や、農林水産業の振興を図るため、

就任のあいさつ


議長
中村 誠一


副議長
米澤 保

市民の皆様には、平素より市政の運営と市議会の活動に、深いご理解とご協力を頂き厚く御礼を申し上げます。

今、奈良市は近畿圏の一翼を担う人口三十六万都市として、一層の発展を目指しております。そして、二年後には市制百周年と、奈良市にとって、大きな節目の年が近づき、さらに飛躍する時期を迎えております。こうした時、市民の皆様が奈良市のまちづくりに期待されている理想の実現に向けて、議決した基本構想に基づく諸施策推進のために、今後とも議会と執行機関が協調して邁進しなければならないと考えております。

市議会といたしましては、さらに円滑な議会運営に努め、清潔で公正な、より一層開かれた議会を目指しつつ、議決機関としての使命を全うして、市民の皆様の負託におこたえし、奈良市の発展と市民福祉の一層の向上に資する決意でございます。皆様のご協力をお願い申し上げます。

「食料・農業・農村に関する基本法」を制定するよう政府等に要望する。

▽違法銃器追放に関する決議

最近、全国各地でけん銃など違法な銃器が、社会に拡散する兆しを見せ、発砲による被害が住民に及ぶなどしている。奈良市議会は安全で安心して暮らせる社会の実現のため、市民と相携え、けん銃など違法な銃器の根絶に総力を挙げることを決議する。

▽「交通安全マナーアップ実践」に関する決議

昨年の県下の交通事故件数は史上最高を記録した。交通安全マナーの悪さや安全意識の低いことが、事故増加

その他 6月定例会で決まったこと

- ▽地域ふれあい会館条例の一部改正
 - ・伴う条例整備(中町、八月一日開館予定)
 - ・とみの里地域ふれあい会館新設に伴う条例整備(中山町西二丁目、八月二日開館予定)
- ▽体育施設条例の一部改正
 - ・西部生涯スポーツセンター1屋内温水プール新設に伴う条例整備(中町、八月一日開館予定)
 - ・精神障害者及びその介護者の屋内プール使用料の無料化(八月一日から)
- ▽工事請負契約の締結
 - ・登美ヶ丘中学校屋内運動場増設案
 - ・平城幼稚園園舎改築 他

の大きな原因の一つになっている。奈良市議会は、市民の生命を守るため「交通安全マナーアップ実践運動」に賛同し、悲惨な交通事故を追放し、明るく住みよい奈良市実現に全力を尽くすことを決議する。

4月臨時会 仮称市民ホールなど 工事請負契約を可決

四月十七日に開いた臨時会には、報告一件と仮称奈良市老人ホーム新築工事、仮称奈良市民ホール新築工事の請負契約の締結に同意を求める議案が提案され、原案どおり可決しました。

老人ホームは契約金額四十二億七千四百五十万円で、市民ホールは契約金額百五十一億四千百万円。いずれも一般競争入札を経て工事請負契約を締結しようとするもので、特に市民ホールは奈良市始めて以来の大規模工事でもあり、一般競争入札の採用や不正行為があった場合、契約破棄を申し合わせるなど厳正な競争を確保するよう努められました。

当初、三月定例会に提案される予定でしたが、昨年の大

震災の教訓を生かし、大幅な耐震設計の見直しを行ったため、入札が遅れ、四月十日の執行となりました。早期に着工し、計画どおり平成十年三月までに竣工させるには、工事請負契約を早期に締結する必要があり、六月定例会を待たず臨時会の招集となったものです。老人ホームは、古市町一八八番地の一に建設され、百五十人収容の養護老人ホームのほか八十人収容の特別養護老人ホームなどが併設されます。また、市民ホールは、JR奈良駅周辺地区整備事業の中核施設となるもので、大ホールは市内最大の千七百二十人が収容可能です。いずれも既に起工式が行われ、現在工事が進められています。

この用紙は再生紙を使用しています。

歩道の段差改良等行う 新設駅舎エレベーターにも助成

省は、バリアフリー(用語解説参照)化促進のため具体的な整備目標も出した。本市の取り組みを聞きたい。

答 奈良県住みよい福祉のまちづくり条例の整備基準が示されたので、市の公共施設の点検を行い、現在取りまとめ中である。歩道の段差改良等行っていく。また、四月から県の施設整備促進事業補助制度がスタートしたので、民間事業者の理解と協力を得るよう積極的に周知を図る。

JR奈良駅、近鉄学園駅前駅の再開発に伴う新設駅舎のエレベーターについては、市も

福祉

問 平成八年版厚生白書には、障害者が国や地方公共団体にノーマライゼーション(用語解説参照)の理念に基づき、まらづくりを望む声が少なくない。また、厚生

質問と答弁

本会議

高齢者や障害者施策、充実をノーマライゼーションの理念で

六月十八日、十九日の本会議では七人の議員が質疑・一審質問を行いました。今定例会では市長の行政姿勢、高齢者や障害者に対する福祉施策、清掃行政などについて質問がありました。以下はその質問と答弁の要旨です。

障害者施設に福祉マーケット

問 障害者が授産所や作業所で作る製品の販売拡大についてどう考えているか。

答 授産所で障害者が作る製品には食べ物、織物などがあり、できるだけ利用していただけるようにPRしている。パンやクッキーなどは老人ク

ラフや婦人会などでたくさん買ってもらっている。ふきんさをり織りなどは福祉大会の記念品としても利用している。これから、障害者の施設をつくって行く中で、福祉マーケットをつくり、自分たちに要する費用をそこから捻出していくよう提案している。この点について、手をつなぐ親の会、肢体不自由児(者)父母の会などの団体と積極的に協議を進めたい。

都市整備

菅原工区が事業採択 大和中央道早期完成図る

問 京奈和自動車道推進協議会設置に向けての取り組みと、都市計画道路大和中央道の進捗、さらに生活道路の整備充実について聞きたい。

答 京奈和道の奈良市城区間は、いまだルートが決まっていない。全県組織の京奈和自動車道整備促進期成同盟会に加速をつける意味で奈良市でも推進委員会を組織すべく、今、国、県と話し合いをしている。早急につくりたい。大和中央道は、この五月に

尼ヶ辻駅改良早期に

問 駅構内踏切がある市内三駅のうち、本年五月近鉄西ノ京駅の改良事業が完了し、

住民の協力を得、建設検討 障害者の市内療護施設

問 障害者基本計画の実施計画を作成し、施策の見直しを示すべきではないか。

また、重度重複障害者の療護施設の整備状況と、奈良市での施設の整備計画はどうか。

答 障害者基本計画の具体的な目標については、推進委員会を設置して平成六年以降六回開催し、具体的検討に入っている。

身体障害者療護施設は県内には県立菅原園一カ所しかなく、人所希望者も年々増えている。現在、大淀町で平成十年四月開所を目指して定員百人の施設を建設中であり、完



改良必要駅構内踏切のある尼ヶ辻駅

成すれば待機者は大幅に減少するものと思う。市においても、地域住民の協力を得、手をつなぐ親の会などとの協議も行い、療護施設の建設を検討したい。

待機者解消図る 特養ホーム増設で

問 市立老人ホームの完成で特別養護老人ホームの待機者はどれだけ解消するか。

答 現在の待機者は二百八十人である。平成十年完成予定の市立老人ホームの特養施設は八十人分で、他に民間で二施設それぞれ五十人分ずつの増設が予定されており、待機者の減少につながる。

また、本年九月から実施する二十四時間対応巡回型ホームヘルプサービスをはじめとする在宅福祉サービスの充実を図ることにより、待機者は減ると思う。

学研都市にふさわしく

問 平城ニュータウン高の原駅前再整備は、どう具体化されるのか。

また、駅前に建設を計画している文化福祉総合センターの検討内容は、

西部出張所の拡充を 再開発ビル移転を機に

問 近鉄学園駅前南地区の市街地再開発ビルが平成十一年度完成で進められている。西部出張所がこのビルに移転する機会に出張所の組織の拡充ができないか。

答 西部出張所が再開発ビルに移転するについては、機能を拡充する方法を考えなければならぬ。地域のニーズにこたえるような出張所でありたいと思う。

外国人高齢者 特別給付金

問 市内の外国人高齢者特別給付金の受給者は二十九人

24時間対応巡回型

老人ホームヘルプサービス開始

問 九月から実施される二十四時間対応巡回型老人ホームヘルプサービスについて、実施に際し、関係者による検討委員会の設置、低所得者に配慮した市独自の費用徴収基準の設定、一回当たり介護時間の延長と休日派遣、配食サービスの三百六十五日実施などについて聞きたい。

答 国の基準に基づいて運営するので検討委員会は設置しないが、介護支援センターや調整チームと連携を持って

で、受給資格を持つ対象者は九十三人と数に開きがある。PRが必要ではないか。

答 指摘の通りPR不足である。皆さんに受けていただくようにPRしていく。

やっつけていきたい。費用負担も国の基準に基づいて実施するが、非課税者の負担はゼロとなるなど低所得者に配慮したものとなっている。一回当たり介護時間は、衣類の着せ替えや排せつの介護など巡回型の事業であり、三十分以内で足りると考えている。また、休日も含めた三百六十五日対応については、その方向で検討している。配食サービスについては現在、月曜日から金曜日まで毎日、平均二百食以

用語解説

ノーマライゼーション

高齢者や障害者を特別扱い、社会的に隔離するのではなく、社会に参加でき、普通(ノーマル)の生活ができるようにすべきであるという考え方。

一九五九年テンマークの知恵遅れの親の運動の中から提唱された。

バリアフリー

バリアとは障害や障壁のこと。バリアフリーとは高齢者や障害者の生活や行動に不便な障害を取り除くこと。さらには物理的なことだけでなく、精神的に障壁がないことも意図している。具体的には段差のない床や歩道、手すりのついたトイレや風呂の設置、「5」の位置に触覚でわかる印をつけた公衆電話や電卓の製造などがその例。

こねつプラン

NTTが文部省の指導により、全国の小・中・高等学校等のマルチメディア環境づくりを支援するプラン。平成八年度から二年間、全国から十校の参加を募り、ISDN(総合デジタル通信網)回線等を利用したインターネット接続環境づくりのための技術支援等を行なうもの。

上を配食している。三百六十五日の実施となれば、委託先との関係もあり、今後の検討課題としたい。

学校現場に混乱 児童生徒の海外派遣

問 児童・生徒海外交流事業として、夏休み中に各小・中学校から二名ずつ、姉妹都

市ではどのような受け止めているか。
答 岡山県での事故を慎重に受け止め、本市各校園長に対し、給食での食中毒防止について一斉点検するよう注意し、併せて文書により、周知徹底を図った。
今後、学校給食に起因する食中毒の防止のため、従来にも増して、積極的な衛生管理に努めていく。

文書で一斉点検徹底 給食での食中毒防止

問 岡山県の小学校、幼稚園で発生した集団食中毒で小学生が死亡している。感染源の特定には至っていないが、共同調理場で調理した給食が原因と見られている。

問 市の一般職員採用の受験資格を日本国籍のある人に限るとする国籍条項を撤廃する考えは。
答 すべての人々に、就職差別があつてはならないと考

撤廃を前向きに検討

職員採用国籍条項

問 市の一般職員採用の受験資格を日本国籍のある人に限るとする国籍条項を撤廃する考えは。
答 すべての人々に、就職差別があつてはならないと考

行政姿勢

現在、自治省は公権力の行使または地方公共団体の意思形成への参画に携わる公務員については、日本国籍を有しない者を採用することは適当

教育

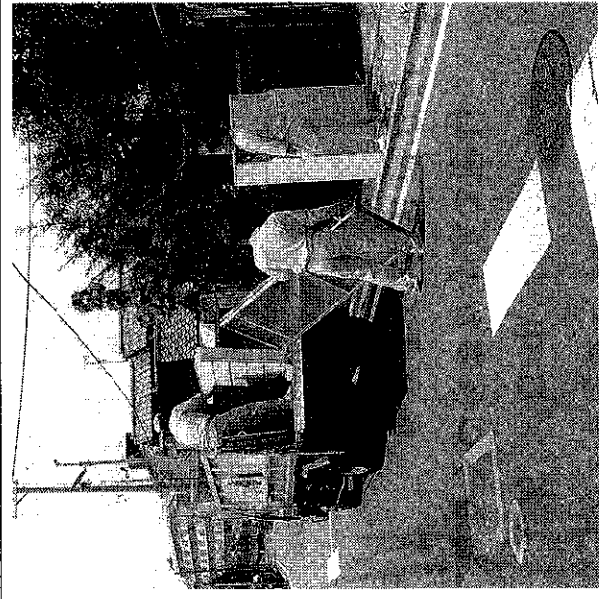
問 岡山県の小学校、幼稚園で発生した集団食中毒で小学生が死亡している。感染源の特定には至っていないが、共同調理場で調理した給食が原因と見られている。

市であるキャンベラ市や慶州市へ派遣されるが、学校現場で混乱を招いている。どう認識しているか。
答 奈良市全域から参加できるように考え、調整は校長会にお願いしている。経済的な事情のある場合は、各校の校長先生に相談していただければ、対処させていただくことになっている。
キャンベラ市には、一条高校の先生が交換教員として滞在しているし、慶州市には、

清掃

収集方法改善

問 昨年十月に大型ごみの電話申し込みによる収集がスタートした。まだ不慣れなこともあり十分利用されていない。新たな取り組みが必要ではないか。
答 従来のステーション方式では、他市のごみや事業系ごみ、あるいは危険物などが投棄され、ごみ量も増え続け、市として大変迷惑していた。市民に若干不便をかけている点もあるので、一回の収集個



改善が検討されるリクエエスト方式の大型ごみ収集

数を四個から六個に増やしたり、個々の電話申し込みしか受けていなかったのを、軒

保護システム必要 「こねっとプラン」に

問 本年度、小・中学校にウィンドウズ版コンピュータが、各三台設置されるが、その目的と利用方法は。また、教育におけるマルチメディア

奈良市と大変かかわりの深い慶州市の職員がいるので、これらの方々との連絡を密にして、旅先での安全には万全を期したい。

でないという見解である。今後撤廃について前向きに検討したい。

残事業責任もって 法期限後の同和対策

問 同和行政について、国は二十八年間続けてきた特別措置法を来年三月末に終了させる。一般施策へ移行させる基本方向を明確にした。真に必要なものは、一般施策で実施

かまどめて受け付けるなどの改善を検討したい。

コミュニケーション環境の整備に貢献する「こねっとプラン」(用語解説参照)への取り組みは。
答 今回導入されるコンピュターは、子どもたち自身の教育利用を目的としている。また、通信利用については、その教育的意義は認識しているが、子どもが利用するためには、個人情報や有害情報に関する保護システムの確立や接続コスト軽減等の検討が必要と考えている。

すべきである。法が切れた後同和事業をどうするのか。
答 同和対策の特別措置法「地対財特法」は、平成九年三月末まで期限が切れるので、国、県に対して残事業を含めた同和対策事業の法制化を要望している。もし、法で何らかの措置がとられなかった場合、どうしてもやらなければならない事業は一般施策として実施したい。残事業についても市が責任を持って推進し

全国市議会議長会の動き

五月二十八日、全国六百六十六市の議長ら約七百人が東京・日比谷公会堂に参集し、第七十二回全国市議会議長会定例会が開かれ、市から中村誠一議長、北尾好章前副議長らが出席しました。
総会では、永年勤続議員などの表彰が行われ、本市からは、四人の議員が表彰を受けました。また、前一年間評議員の職に就いた中村議長に感謝状が贈呈されました。会議では、地方分権の実現を求める決議案(下

第72回定期総会開かれる 市から正・副議長が出席

日比谷公会堂

記に全文掲載)などが可決されました。
翌二十九日、中村議長は、他市の議長とともに、皇居に参内して天皇陛下に拝謁しました。天皇陛下からは「それぞれの地域において様々な苦勞があり、市議会の運営に尽力されていることと思います。どうか、くれぐれも身体を大切にされ、元気に今後と

老朽で建て替え 東、西消防署

問 昭和三十四年建設の東消防署、昭和四十二年建設の西消防署は、老朽化が目立ち近代化された消防機材の格納が困難になるなど狭隘である。消防職員の勤務環境も悪化しつつあり、両署の建て替えを検討すべきだが。
答 人口も非常に増加して消防職員もそれに見合った配置をしていかなければならない。また、都市の構造にしたがって大型の機器も導入していかなければならない。そのようなことから、建て替えあるいは狭隘の解消を検討したい。

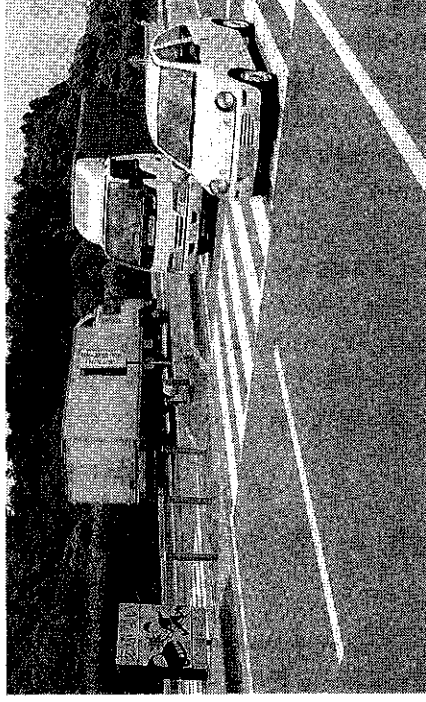
4議員特別表彰 議員勤続25年で

二十五年以上市議会議員の職にある次の四人が特別表彰を受けました。
扇田善次 小嶋高年
横井健二 橋本和信

も地方自治の発展のため、まう願っております」との励ました市民の福祉に努められるようお願いを賜りました。
地方分権推進委員会は、昨年七月の発足以来、地方分権の推進に向け具体的な検討を行い、本年三月末に「分権型社会の創造」と題した中間報告を取りまとめて公表した。
中間報告では、国と地方公共団体の関係を現行の上下・主従の関係から新しい対等・協力の関係に改め、中央省庁による行政統制を可能な限り縮小して、国会による立法統制と裁判所による司法統制にできるだけ委ねるとして、機関委任事務制度の廃止、国と地方公共団体間の係争を簡易・迅速に解決する第三者機関の設置など国と地方の新たな関係を目指した抜本的な改革の方向が示されており、概ね地方公共団体の

危険なルート変更を 検討

問 奈良漫遊という観光地図に「歴史の道」として



ルートの変更が検討される「歴史の道」国道24号線法華寺町付近

国道24号線の自衛隊東側を横断するルートが示されている。この場所は過去にも死亡事故

が起きている危険な場所である。ルート変更の考えは。また、各地域の特徴を生かしたサブルートを設定してはどうか。
答 歴史の道は、昭和四十七年に平城京の外周約二十七キロメートルを古郡奈良を築しむコースとして設定した。指摘の場所は、交通量の激増など、当時とは状況が変化している。ルートの一部変更や案内板の設置など、検討したい。
また、現在、東西南北四つのモデルコースを紹介しているが、より詳細なサブルートの設定は、奈良町などまちづくりが進む中で新しい観光スポットも生まれており、これらも視野に入れて検討する。

観光

奈良市議会議員会派別・委員会別一覧表

会派	議員名	氏名	職名	常任委員会				議長	副議長	米澤保
				総務財政	経済水道	教育厚生	企画建設			
交政(9)	田本池山	田本池山	議員	中嶋山小浅	木原田澤	田田西	追本山	木田中追	矢松山吉	追本田田嶋川
政友(10)	成春男信二	成春男信二	議員	山橋	田田井	内上村(調)	西田	森山和	森山和	田口田本
産共(7)	菅子孝	菅子孝	議員	中原	横田	山口林	中佐	田原	田原	田佐田
良明(6)	野越尾田川	野越尾田川	議員	金船北	北尾	井本	島橋	嶋尾	大北岡	井尾本
良明(4)	岡大島	岡大島	議員	松石	△松村	黒川	岡田	岡松	岡松	田石
良明(4)	松石	松石	議員	野越	△松村	黒川	岡田	岡松	岡松	田石
良明(4)	松石	松石	議員	野越	△松村	黒川	岡田	岡松	岡松	田石
無所属(2)	森純	森純	議員	森谷	森谷	森谷	森谷	森谷	森谷	森谷
無所属(44)			議員	11	11	11	11	14	21	8

◎幹事長 ○委員長 △副委員長

中小企業や自営業者の 経営安定化に努力

経済水道委員長 堀田征男

過去最悪の失業率をもたらされた我が国の長期大不況も、ようやく明るさが見えてきた。このように、私達の日々の経済活動は、まだまだ具体的な回復を見せるまでには至っておりません。

かつての右肩上がりの日本経済も、今はほとんど水平で、加えて来年四月からは消費税が5%に引き上げられます。このような厳しい経済環境の下、市内の中小企業者や自営業者の皆様が安定した経営を行い、そして安心して後継者に事業を任せられるような環境づくりが、行政に課せられた責務だと思います。そのためにも、松村副委員長をはじめ委員の皆様方のご協力を得て、活発な委員会にしていきたいと考えております。

新委員長 抱負を語る

高の方は、引き継ぎ厳しいものがあります。

古き良きものを守り 快適で安全なまちづくりを

総務財政委員長 山口 誠

美しい自然と、数多くの優れた文化遺産を守り続けている日本を代表する都市、奈良市も財政運営の面で、引き継ぎ厳しいものがあります。

その中で待望久しかった総合医療検査センター、防災センターが、無事完成できました。これは、市民の健康に留意し、市民が安心して暮らせる「まちづくり」の、一歩前進だと言えます。

古き良きものを守りつつ、最新技術を取り入れた救急業務と医療衛生業務、また消防活動などについては、これからは改善に励んでまいります。

より快適で安全な「まちづくり」のために、山中副委員長、委員の方と力を合わせ、市民各位の期待にこたえるべく頑張りたいと思います。

増大する市議会の責務 開かれた議会に全力投球

議会運営委員長 峠 宏明

久しく論議されてきた地方分権は、一昨年の法整備を受け、本年三月末には「分権型社会の創造」と題した中間報告が公表されるなど、いよいよ実現に向けて動きを早めてまいりました。地方分権が推進されれば、

れる程、地方自治の果たす役割は増大し、それと共に市議会の責任も、より一層重大なものになります。平成五年に続いて再度、委員長の重責を担うことになりましたが、奈良市議会がモットーとしております開かれた議会を目指し、市民の皆様に分かりやすい議会運営を心掛けながら、北尾副委員長はじめ委員の皆様のご協力を得て、この重大な使命に全力を傾注してまいります。

快適で安全なまちを 市民の「夢」実現を目指して

企画建設委員長 島崎 光治

二十一世紀まで後五年、そして平成十年の市制百周年も目前に迫っております。本市ではJR奈良駅周辺再開発事業を中心として、近鉄西大寺駅・学園駅前周辺整備事業等のピックアッププロジェクトが進められております。

平成七年度末策定された「奈良市新総合計画・第二期基本計画」の当委員会に係る主要計画の積極的な推進を目指して取り組みます。

昨年の阪神・淡路大震災の

市民に身近な市政を 快適な生活環境をつくる

教育厚生委員長 池田 慎久

高齢化社会から高齢社会へ突入し、将来が不安視される中、公的介護保険導入の問題、施設整備やマンパワーの充実など早期の対応が強く求められております。

また、いじめ、不登校など、深刻化している学校教育現場の立て直しも望まれ、その解決に向け、二本柱である学校、

編集後記

一面には市青少年野外活動センター(阪原町)での宿泊体験学習で夕食作りに取り組む精華小学校四、五、六年生の写真を掲載しました。小学校から同センターまで十八キロメートルの道のりを歩いてやってきた児童たちは疲れも何のその、緑に囲まれたセンターの炊事場で、早速、まきをたいの夕食作り、慣れないながらも助け合いながら、大好物のカレーライスを作っていました。

六月定例会で就任した編集委員一同、今までは違った変化のある新しい紙面作りに取り組みながら、より市民の皆様にも身近な議会だよりをお届けできるよう頑張っております。

議会だより編集委員長 黒川 恵三